	医療情報システム I 青島 由子	標準対象年次 3 年次	選択/必修	科目コ·	ード	
		3 年次	<u> </u>			
担当教員	青島 由子		選択	15001701		
担当教員	青島 由子	単位数	学期	曜日	時阻	
	計島 由子	2 単位	前期	土曜日集中		
授業の教育	医療は多くの専門職がチームを組み、	 高度な医療機器	を用いて行われ	る。そのような	よ場では	
目的·目標	報システム構築と情報の有効活用が重	要である。本講	義では、医療で	扱うデータ、忄	青報の専	
	性、特質を理解することを目的とし、学生が医療情報システムの基本的知識を習得することを					
W 41 = W 77 H	目標とする。		/ =m +			
学科の学習・教育						
目標との関係	│ 扱うデータ・情報の形態や意味内容を学び、医療の複雑さを理解することが求められる。医学で 工学の両方の視点から医療情報システムを捉えることが重要である。					
キーワード	エ字の両方の税点から医療情報システ 医療制度、診療プロセス、医療記録、			如冷ェ 用 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	≡±□/₽ <i>=#</i>	
授業の概要	医療および医療の情報化・システム化は医療制度や関連法規に則っておこなわれている。医療 情報システムを理解するうえで求められる、医療の基本知識や医療プロセスの複雑さを、情報					
	という切り口から概説する。そのうえ	で、医療情報シ	ステムの基本的	既要を解説する) ₀	
受業の計画	第1回: 医療情報概論					
	第2回: 医療提供体制と専門職					
	第3回: 医療を取り巻く環境					
	第4回: 診療のプロセス					
	第5回: 診療のプロセスと情報の流れ					
	第6回:病院情報システム					
	第7回: 用語・コードの標準化					
	第8回:「記録と関連法規、医療記録の電子化、電子保存」					
	第9回: 医療倫理、プライバシー保護、診療録の開示					
	第10回: 個人情報保護、情報セキ	ユリティ				
	第11回: 医療安全	、				
	第 12 回: 地域医療連携システム・					
		第 13 回 : 健康管理システム・介護システム・AI 第 14 回 : 国の医療 IT 施策				
	■ 第 15 回 : 総括 本科目に引き続き「医療情報システム	Ⅲ」 太巫謙士 スコ	・レズ 医療性報	今郎 一門士ス‡	≢ ★ 소 ⊓≣쐊∶	
文神末件· 関連科目	一通り習得することができる。	エ」を文語するこ	- C C、区原旧刊		圣 华入山郎、	
	12121111 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					
授業方法	スライド、配布資料にそって講義を進	න ිර				
テキスト・参考書			╨ᄉ ᇆ ᆂᆦᆌᅩ	∆⊤-∕-	* E	
	医療情報 第5版(医療情報システム編) 日本医療情報	子会医療情報技	助育成部会 征	薬原出版	
	社	· 医质性和学人医	表/主#2++6= - 本-+*	如本 然后山屿	立にナー	
成績評価	■ 医療情報 第5版(医学・医療編)日本・期末試験(100%)・レポート(登情報技師育及は ・スト (%)	叩云 條原出版	材化	
			A F (%0)			
	・その他 () (%)					
履修上の注意						